

2 目標達成計画

作成日: 令和3年3月2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 (6)	入居者の暮らしがわかるように、しおさいだよりを発行しているが、他に工夫方法がないか考える。	しおさいだよりだけでなく、機器等を活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン面会を実施するにあたり、職員の機器等の講習を行う。 ・インターネット等の環境整備を行い、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等の機器(ハード端末)を準備する。 ・プライバシーへの配慮や感染防止対策を徹底する。 	3か月
2	33 (12)	重度化や終末期のあり方について。	今後、予想される重症化や終末期の対応に向けて、適宜入居者・家族と話し合いながら意向を汲み取り、関係者と連携して状況変化の対応に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りに関する職員研修を実施する。 ・情報収集等、具体的な取り組みをすすめる。 ・ホームの看取りの準備が整い、本人または家族の同意が得られ、主治医に状況を報告して指示を仰ぐことができる。(連携カード・看取りの意思表示書) 	6か月
3	42	入居者全体の口腔内について把握ができていない。	入居者全員の口腔内の把握に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医による定期的な検診を行う。 ・協力病院の歯科衛生士から口腔ケアの指導をしていただく。 ・衛生面の研修を行う。 	12か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。